

2021年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月10日

上場会社名 AI CROSS株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4476 URL <https://aicross.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田 典子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 菅野 智也 TEL 050-1745-3021
 定時株主総会開催予定日 2022年3月25日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2022年3月28日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年12月期の連結業績（2021年1月1日～2021年12月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	2,422	—	260	—	254	—	341	—
2020年12月期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2021年12月期 341百万円（-%） 2020年12月期 -百万円（-%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	86.37	83.58	25.1	14.6	10.7
2020年12月期	—	—	—	—	—

（注）2021年12月期より連結財務諸表を作成しているため、2020年12月期の数値及び対前期増減率については記載しておりません。また、2021年12月期の自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は、連結初年度のため、それぞれ期末自己資本及び期末総資産に基づき計算しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	1,975	1,535	77.7	388.29
2020年12月期	—	—	—	—

（参考）自己資本 2021年12月期 1,535百万円 2020年12月期 -百万円

（注）2021年12月期より連結財務諸表を作成しているため、2020年12月期の数値については記載しておりません。

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期	187	96	△12	1,326
2020年12月期	—	—	—	—

（注）2021年12月期より連結財務諸表を作成しているため、2020年12月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	—	270	—	260	—	162	—	41.09

（注）2021年12月期より連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）AIX Tech Ventures株式会社、除外 1社（社名）-

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2021年12月期	4,002,850株	2020年12月期	3,995,050株
2021年12月期	47,449株	2020年12月期	50,080株
2021年12月期	3,949,305株	2020年12月期	3,905,781株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年12月期の個別業績（2021年1月1日～2021年12月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	2,422	26.9	262	37.4	257	35.3	344	155.1
2020年12月期	1,908	31.5	191	0.3	190	12.0	138	8.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期	87.29	84.47
2020年12月期	34.59	33.18

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
2021年12月期	1,978	77.8	1,539	77.8			389.20	
2020年12月期	1,507	78.5	1,184	78.5			300.18	

(参考) 自己資本 2021年12月期 1,539百万円 2020年12月期 1,184百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が加速しているものの、変異株による感染拡大もあり、依然として景気の先行き不透明な状態が続いております。

一方で、新型コロナウイルスを起因に新しい働き方に対応するデジタルシフトが加速するとともに、デジタルトランスフォーメーション等への注目度は高まっており、そのセキュリティの重要性も高まっております。当社グループでは、デジタル化が進む各業界向けに顧客との新たなコミュニケーションツールを提供すべく新規開発を強く推進しております。

当社グループを取り巻くインターネット関連市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、日本における2021年9月末時点の移動系通信の契約数は、1億9,847万回線（前年同期比0.8%増）と増加が続いております（出所：総務省「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表（2021年度第2四半期（9月末）」）。また、当社グループがターゲットとする働き方改革ICT市場におきましては、時間と場所に柔軟性を持たせた働き方の促進が急速に求められており、テクノロジーを積極的に活用した生産性の向上、ワークライフバランスの向上といった取り組みにより、今後益々の市場の拡大が期待されております。

このような事業環境のもと、当社グループは、“Smart Work, Smart Life～テクノロジーでビジネススタイルをスマートに”をミッションとして、メッセージングサービス及びHR関連サービスを展開してまいりました。2021年6月には、それまで展開していたビジネスチャットサービスを、よりポテンシャルの高いメッセージング領域・HR領域に経営資源を集中するため事業譲渡を行っております。また、当社事業と関連する領域の企業への投資・支援を通じ、新しい価値の創出、事業の加速・拡大を目指すため、CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）としてAIX Tech Ventures株式会社をAI CROSS株式会社の100%子会社として設立いたしました。

メッセージングサービス「絶対リーチ！SMS」においては、市場の拡大に対応すべくセールス・マーケティングチームの体制を強化し、当連結会計年度末における取引社数は4,085社となっております。

HR関連サービスでは、社員のパーソナリティを適性検査により可視化し、自社に適した活躍人材を見極め、最適配置を実現する戦略人事アナリティクス「HYUMAN BOX」をリリースし、大手企業様を中心にトライアル普及を進めております。

CVCであるAIX Tech Venturesにおいては、2件のスタートアップ企業への出資を実施しております。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,422,444千円、営業利益260,326千円、経常利益254,078千円、当期純利益341,137千円となりました。

なお、当社はSmart AI Engagement事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は1,975,614千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が1,326,926千円、売掛金331,546千円であります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は439,683千円となりました。主な内訳は、買掛金が209,543千円、未払金が38,159千円、未払法人税等が145,105千円であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は1,535,930千円となりました。主な内訳は、資本金が12,977千円、資本剰余金913,828千円、利益剰余金が609,671千円、自己株式が△653千円であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,326,926千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は187,102千円となりました。これは主に、収入として税金等調整前当期純利益511,589千円、仕入債務の増加45,338千円、支出として、事業分離における移転利益257,510千円、売上債権の増加54,695千円、法人税等の支払額65,243千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は96,050千円となりました。これは主に、事業譲渡による収入279,810千円、投資有価証券取得による支出129,997千円、有形固定資産取得による支出1,336千円、無形固定資産の取得による支出52,425千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は12,489千円となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入5,954千円、長期借入金の返済による支出18,396千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、メッセージング領域においては、セールスパートナーの開拓、営業強化により国内企業を中心に売上のさらなる伸長を見込んでおります。HR領域においては、「HYOUMAN BOX」の本格的な拡販を進めるとともに、複数のAIを活用したサービスをリリースする計画としております。新規領域であるHR領域、また人材投資についても引き続き積極的な投資を進めてまいります。

このような状況のもと、2022年12月期の連結業績見通しにつきましては、売上高は3,000百万円を予想しております。利益項目につきましては、営業利益は270百万円、経常利益は260百万円、当期純利益は162百万円を予想しております。

今後の業績進捗につきましては、状況に変動が生じ次第、即時に開示を実施することで、常にステークホルダーの皆様に情報格差が生じない状態を維持していく予定です。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	当連結会計年度 (2021年12月31日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,326,926
売掛金	331,546
前払費用	27,036
未収消費税等	23,887
その他	380
貸倒引当金	△952
流動資産合計	1,708,825
固定資産	
有形固定資産	
建物	19,794
減価償却累計額	△2,994
建物(純額)	16,800
工具、器具及び備品	6,495
減価償却累計額	△3,127
工具、器具及び備品(純額)	3,368
有形固定資産合計	20,168
無形固定資産	
ソフトウェア	4,376
ソフトウェア仮勘定	56,142
無形固定資産合計	60,519
投資その他の資産	
投資有価証券	127,912
差入保証金	32,911
繰延税金資産	25,276
投資その他の資産合計	186,101
固定資産合計	266,788
資産合計	1,975,614

(単位：千円)

当連結会計年度 (2021年12月31日)	
負債の部	
流動負債	
買掛金	209,543
1年内返済予定の長期借入金	18,396
未払金	38,159
未払費用	6,300
未払法人税等	145,105
預り金	3,702
流動負債合計	421,206
固定負債	
長期借入金	18,477
固定負債合計	18,477
負債合計	439,683
純資産の部	
株主資本	
資本金	12,977
資本剰余金	913,828
利益剰余金	609,671
自己株式	△653
株主資本合計	1,535,823
新株予約権	107
純資産合計	1,535,930
負債純資産合計	1,975,614

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	2,422,444
売上原価	1,544,998
売上総利益	877,446
販売費及び一般管理費	617,120
営業利益	260,326
営業外収益	
受取利息	11
その他	60
営業外収益合計	71
営業外費用	
支払利息	247
為替差損	2,715
投資事業組合運用損	2,084
支払手数料	1,270
営業外費用合計	6,318
経常利益	254,078
特別利益	
事業分離における移転利益	257,510
特別利益合計	257,510
税金等調整前当期純利益	511,589
法人税、住民税及び事業税	178,385
法人税等調整額	△7,933
法人税等合計	170,451
当期純利益	341,137
非支配株主に帰属する当期純利益	—
親会社株主に帰属する当期純利益	341,137

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
当期純利益	341,137
包括利益	341,137
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	341,137
非支配株主に係る包括利益	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	470,161	446,161	268,533	△640	1,184,216	107	1,184,323
当期変動額							
減資	△460,161	460,161			—		—
新株の発行(新株予約権の行使)	2,977	2,977			5,954		5,954
親会社株主に帰属する当期純利益			341,137		341,137		341,137
自己株式の取得				△47	△47		△47
譲渡制限付株式報酬		4,528		33	4,562		4,562
当期変動額合計	△457,184	467,666	341,137	△13	351,606	—	351,606
当期末残高	12,977	913,828	609,671	△653	1,535,823	107	1,535,930

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	511,589
減価償却費	28,642
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	179
受取利息	△11
支払利息	247
投資事業組合運用損益 (△は益)	2,084
事業分離における移転利益	△257,510
売上債権の増減額 (△は増加)	△54,695
前払費用の増減額 (△は増加)	2,145
仕入債務の増減額 (△は減少)	45,338
未払金の増減額 (△は減少)	14,135
未払費用の増減額 (△は減少)	△781
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△36,110
前受金の増減額 (△は減少)	5,322
その他	△7,977
小計	252,599
利息の受取額	11
利息の支払額	△265
法人税等の支払額	△65,243
営業活動によるキャッシュ・フロー	187,102
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△129,997
事業譲渡による収入	279,810
有形固定資産の取得による支出	△1,336
無形固定資産の取得による支出	△52,425
投資活動によるキャッシュ・フロー	96,050
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△18,396
新株予約権の行使による株式の発行による収入	5,954
自己株式の取得による支出	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,489
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	270,664
現金及び現金同等物の期首残高	1,056,262
現金及び現金同等物の期末残高	1,326,926

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に関する会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染拡大による影響は未だ不透明な状況ではあるものの、現状では、当社の事業活動に与える影響は限定的であるとの仮定を置き、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りなどを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響は不確実性が高く、今後の状況次第では、当社の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社は、Smart AI Engagement事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり純資産額	388.29円
1株当たり当期純利益	86.37円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	83.58円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	341,137
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	341,137
普通株式の期中平均株式数(株)	3,949,305
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—
当期純利益調整額(千円)	—
普通株式増加数(株)	131,856
(うち新株予約権(株))	(131,856)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—

（重要な後発事象）

該当事項はありません。